

(令和3年6月試験研究業務月報)

試験研究課題：我が国周辺漁業資源調査・資源評価調査

研究

けた 桁びき網による底生生物の資源調査

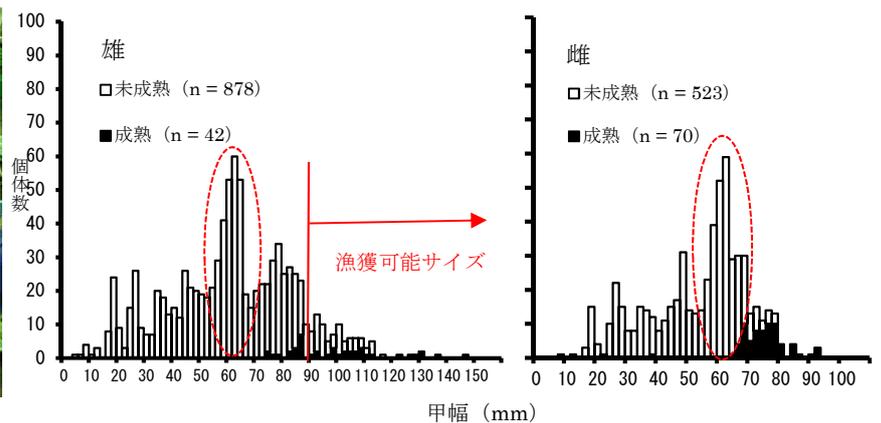
当センターでは、京都府の漁業上重要なズワイガニやアカガレイなどの底生生物の資源量を把握するため、毎年5～6月に海洋調査船「平安丸」のけた桁びき網*操業による調査を実施しています。今年度は、5月18日～6月15日の期間中に京都府沖合の水深120～320mの海域で25回操業し、ズワイガニでは、雄920尾、雌593尾が採集されました。特に、甲幅60mm前後の未成熟個体が雌雄ともに多く、順調に成長すれば数年後に漁獲の増加が期待されます。

今後、このような底生生物の資源状況を国や他県の研究機関と協力して広域的に分析し、資源を適切に管理して有効活用できるよう府内の漁業者へ情報提供していきます。

※ けた桁びき網：鉄枠に漁網を取り付けて海底付近を曳くことで生物を採集する漁具



採集物を種ごとに仕分けして計測



ズワイガニの甲幅組成